

# 第124回日本眼科学会総会

ランチオンセミナー5

日時▶2020年4月16日(木) 12:35~13:25

場所▶第5会場(東京国際フォーラム Bブロック5F ホールB5(2))

## 最新の画像診断機器で変わる!

## 眼底疾患と緑内障

～広角眼底撮影と360度隅角カラー撮影～

### 座長のことば

近年、画像診断機器から得られるデータは高画質で広範囲、かつ多彩になってきており、診断や診療そのものに大きな変革をもたらしています。なかでも隅角撮影装置や広角カラー眼底撮影装置は、緑内障診断や眼底疾患の診断に大きなインパクトを与えているのは周知の通りです。

緑内障診断においては、隅角を360度にわたってカラー撮影可能な装置が発売され、これまで時間を要した隅角検査とその記録が以前と比較して簡便かつ短時間で済むようになり、患者さんへの説明も容易となりました。眼底疾患においては、通常の眼底カメラとは異なる共焦点走査型レーザ(SLO)の原理を用いた広角カラー眼底撮影装置による撮影で、患者さんに羞明等の不快感を与えることなく快適な撮影と記録が可能となっただけでなく、新たな知見も蓄積されつつあります。

そこで今回は、これらの新しい画像診断器機から得られる隅角画像や眼底画像を基に、緑内障と眼底疾患におけるこれらの器機の活用方法をご紹介しますセミナーを企画しました。

講師には松尾将人先生(島根大学)と園田祥三先生(鹿児島大学)のお二人にお願いし、具体的な症例を提示しながらご講演いただきます。

今後の診療スタイルに大きな変化をもたらすお話が伺えると思いますので、多くの先生方のご来場をお待ちしております。



座長

Hiroshi Goto

後藤 浩先生

東京医科大学  
臨床医学系眼科学分野  
主任教授



演者

Masato Matsuo

360度隅角カラー撮影で変わる!  
緑内障診療

松尾 将人先生

島根大学医学部眼科学講座 臨床助教



演者

Shozo Sonoda

広角マルチモダルイメージング、  
Mirante画像を紐解く

園田 祥三先生

鹿児島大学医学部眼科学教室 客員教授